

令和元年(2019年)7月26日(金曜日)

三島市のNPO法人
グラウンドワーク(GW)
W三島は22日からネ
パールの中学生ら6人
を市内に招き、25日ま
で環境保護活動の体験
などを通じて日本の文
化を伝えた。

24日は三島大社や源
兵衛川など市内を散
策した後、GW三島
ル文化交流協会が
管理する沢地グローバ
ル下団体「グローバ
ル」が

ネパール大地震 被災中学生招待 GW三島の活動体験



シャクナゲの植樹に取り組む生徒ら
II三島市の沢地グローバルガーデン

バルガーデンでネパールの国花シャクナ
ゲを植樹した。2015年4月の大地震に見
舞われたネパールの復興状況や教育制度に関する意見交換会も行つた。

ロサニ・フマガイン
さん(13)は「時間を守
る、自然を大切にする

という日本人の考え方
が印象的だつた。ネパ
ールに持ち帰りたい」と話した。
市内への招待は大地震で被災した生徒を元気づけようと、「ネ
パール・日本友好協会」(山梨県)と行つた。生徒らは30日まで日本に滞在する。